

令和 7 年度

横浜市立高等学校
及び
併設型中学校

学校関係者評価書

対象校：横浜市立 戸塚高等学校
定時制

調査全体の日程

調査日： 令和 6 年 8 月 22 日（木） ～ 令和 7 年 3 月 21 日（水）

調査対象校： 横浜市立 戸塚高等学校 定時制

調査チーム： 学校運営協議会

記録等担当者： 副校長 小島 孝道

1 第 4 期横浜市教育振興基本計画の推進状況

□総合的な探究の時間の取組

「表現プログラム」を実施。表現することとおした学びを实践。演劇祭を成果発表の一つとして活用しており、各クラスにおいて演劇上演までの過程の中でも学びの重要な実践となっている。

□魅力ある学びの創出に向けた取組

○学校設定科目：「学びなおし」

1、2年生では「基礎学習」「発展学習」自分の進度に合わせて基礎学力（国語・数学・英語）に取り組む。3、4年生では「実践学習Ⅰ、Ⅱ」Ⅰでは地域と連携した課題解決の学びを实践し、進路に向けたキャリア教育の实践に取り組む。

○「表現プログラム」

表現活動においての体験をつうじて、自分の思いや考えの伝え方、伝わり方を考え、身につけていき、人とのかかわり方、コミュニケーションの力を磨いていく。

□多様化する生徒への支援

○地域や関係機関と連携した取組

・子ども食堂「がじゅまる」との定期食事会

食育・他学年交流・外部機関との接点づくりを目的に実施

場所：踊場地域ケアプラザ 月1回 14：30-17：00 10～20名が参加

参加団体：子ども食堂がじゅまる、フードバンク浜っ子南、よこはまユース、
横浜メンタルサービスネットワーク、YSSW

・とまりぎ（校内カフェ）の実施

食育、他学年交流、外部機関との接点づくりを目的に実施

場所：戸塚高校、家庭科室 月1回 20：45-21：30 30人程度が参加

参加団体：子ども食堂がじゅまる、フードバンク浜っ子南、よこはまユース、
横浜メンタルサービスネットワーク

2 教育活動の状況

□実践学習（キャリア教育）の状況について

3年生の「実践学習Ⅰ」では、夏季休業中に16名が連携機関に協力を得て職場体験を実施した。

また、地域と連携した課題解決の学びの実践として協働した。機会や課題の提供ではなく、過程において協働して取り組んでいただいたことで生徒の主体性が大きく引き出すことができ、学びの深まりがあった。

□地域・関係機関との連携の状況について

* 地域ボランティアへの参加

踊場地区センター祭り、汲沢地域ケアプラザにおける高齢者たちとポッチャで交流等を実施した。

* 「実践学習Ⅰ」実習機会の提供

職場体験、地域・関係機関との協働した学びに取組み、課題解決型の学びを実践した。

「谷矢部池公園竹灯籠祭りの運営委員への参加」「戸塚区役所：生活困窮制度普及デザインの検討」

「こまちカフェ：子育てするママさんたちが相談できる居場所づくり」「ドローンファイト」

「踊場ねこまつり：お祭りを盛り上げる方法について検討」

* 「とまりぎ」「定期食事会」の実施

生徒が料理を作ること、食べることをとおして生活基盤づくりの支援につながっている。

歯科検診、歯科相談を実施し生活習慣の関心高める機会も作れた。

* 今後の連携に向けて

・卒業後の自立を見据えて就業の継続および、生活面や社会面での困り間の解消に向けた行動を自らとれるよう、社会資源の活用や福祉機関とつながりをもつことができるための取組の実践。

・ボランティア活動において、学びとして仕事に触れる経験をし、就業に向けた資質や意識づくりの経験を積み重ね、アルバイトで就業継続、については雇用につなげられる資質・能力を育てていく。

・成人年齢に達した後も相談や活用ができる福祉機関とのつながりを在学中から作れる取組の実践。

3 学校経営の状況

（重点項目④保護者・地域等との連携協力、⑥学校に関する情報公開）

地域への質問項目 1.2.6.9 の項目について概ね肯定する回答の割合が超えており、地域や機関との連携が推進されていること、地域からの理解や信頼が向上していると評価できる。

4 学校関係者評価 提言（380字以内）

現在の取組に成果がみられており、これらの取組を継続させていくことが課題になる。

地域と連携した活動によって生徒の中にも地域との仲間意識が芽生え、地域での居場所ができていく。多年齢での交流の機会が持てることで考え方やコミュニケーション、他者への配慮などの学びにつながっている。教員についても地域のリソースの理解が深まり、必要な支援ができる機関へ生徒をつなげられ、個々のスキル、チーム力が向上している。教員が引率も含めて地域へ出ていくことで学校が地域とつながる、地域尊重する意思が伝播している。今後、ボランティア⇒アルバイト⇒就職⇒就業継続を見据え、ボランティア等活動後に生徒本人にフィードバックする機会を重視するなど指導を改善・発展が課題の一つとなる。

引き続き地域や関係機関と連携・協働を推進して戸塚高校定時制の教育活動の充実と生徒の成長を支援していきたい